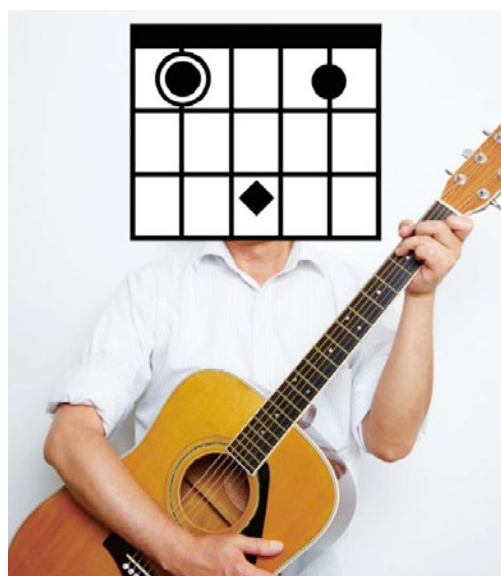


各 位

2016年7月25日
株式会社リットーミュージック

WEB で人気のギター・コード講座「指板図くん」が本になりました！
各種コードのサウンドが聞ける WEB サイトも公開です



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手掛ける株式会社リットーミュージック(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:古森優)は、7月26日、ムック『初心者だって大丈夫! コードが自分で作れちゃう! 指板図くんのギター・コード講座』を発売します。

リットーミュージックの公式ホームページで長年連載し人気を集めていた「指板図くんのギター・コード講座」が本になりました。これはギターのコードに詳しい「指板図くん」というキャラクター講師が「ギターを始めたばかりの人」「ギターは弾くけどコードにはまったく弱い人」などを対象に、ギター・コードに関するごく初歩的なこと、その効率的な覚え方を説明していく講座です。

基本的なテーマは、

- (1)コード名の意味がわかるようになる
- (2)簡単なコードならすぐに押さえ方がわかる
- (3)複雑なコードも自分で作れるようになる

の3つ。「コードに関して悩むこと」が(ほぼ)なくなる1冊です! また、その「指板図くん」が本書の読者をサポートする WEB サイト(<http://www.rittor-music.co.jp/app/shibanzukun/kouza/index.html>)も同時に公開してくれたので紹介します(スマホ/パソコン両対応)。

そのサイトでは、なんと本で紹介されているさまざまなギター・コードのサウンドが聞けるんです！ つまり読者はギターを持たずして講座の内容を感覚的に理解していくことができるというわけ。読者に優しい「指板図くん」らしい気配りのサポート・ページです。ぜひご利用ください。

「指板図くん」の読者サポート・ページ(特設サイト)

<http://www.rittor-music.co.jp/app/shibanzukun/kouza/index.html>

● 書籍

『初心者だって大丈夫！コードが自分で作れちゃう！指板図くんのギター・コード講座』

著者:指板図くん

発売:2016年7月26日

定価:1,620円(本体1,500円+税)

書籍詳細 <http://www.rittor-music.co.jp/books/15317130.html>

特設サイト <http://www.rittor-music.co.jp/app/shibanzukun/s/index.html>

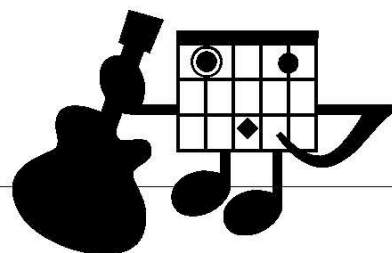
【CONTENTS】

- ◎コードとは？コード進行とは？
- ◎Cの構成音と、いろいろな押さえ方
- ◎C6、C7、C△7の構成音と、いろいろな押さえ方
- ◎Cメジャー・スケールを覚えよう
- ◎ルートとは？度とは？
- ◎コードの構成音一覧
- ◎三和音とは？
- ◎四和音とは？
- ◎テンション・コードとは？
- ◎omit3とは？add9とは？sus4とは？
- ◎分数コードとは？
- ◎続・分数コードとは？
- ◎コードは平行移動で覚えよう
- ◎続・コードは平行移動で覚えよう
- ◎レット数の書かれていないコード・ブック
- ◎続・フレット数の書かれていないコード・ブック
- ◎コード・フォームを自分で作る
- ◎続・コード・フォームを自分で作る
- ◎自分独自のコード・フォームを作る

◇巻末スペシャル:Fコードの押さえ方と攻略法

◇付録:いろいろ確認できる4つの指板図！

はじめます



はじめまして。「**指板図くん**」と申します。

この講座では、「ギターを始めたばかりの人」や「ギターは弾くけどコードにはまったく弱いという人」などを対象に、ギター・コードに関するごく初歩的なことと、その効率的な覚え方を説明していきます。

本書を読み終える頃には、**コードに関して悩むことが、ほとんどなくなる**でしょう。また、ギターの教則本や音楽理論書に書かれていることも、ずっと理解しやすくなっているはずですよ。

📖【本講座の目標】

1. コード名の意味がわかるようになる
2. 簡単なコードならすぐに押さえ方がわかる
3. 複雑なコードも自分で作れるようになる

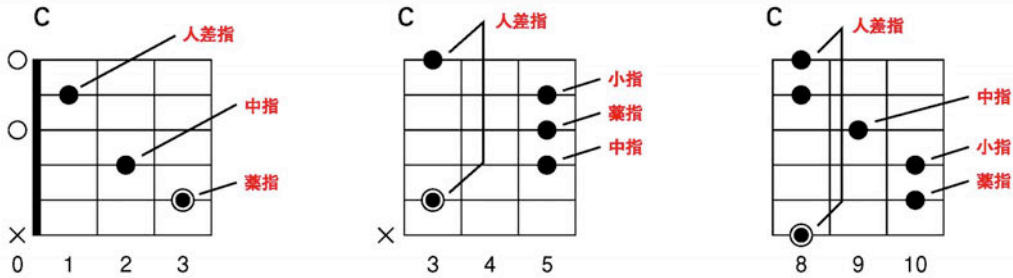
◆編集部より

指板図くんの「中の人」は中島康晴さん。1985年～1996年にギター・マガジン編集部にて編集、副編集長も務めた方です。御自身でもギターを演奏されますが、その腕前は相当なもの。そしてギターが上手なだけでなく、ギターを教えることも上手です。その才能を生かしてギター・マガジンの**奏法特集の基本型**を完成させたのも中島さんで、自ら**奏法特集**を執筆したこともありました。そんな中島さんがわかりやすくコードを説明してくれるのが本書です！



Cコードを押さえる時の指使いと、「ロー・コード」「ハイ・コード」

Cの代表的な3つのフォームを、実際のギターで押さえる時の指使いを示しつつ、用語の解説もしておきましょう。



一番左のフォームは、ネックの低い位置で押さえるものであることから**ロー・コード**と呼ばれます。開放弦を含むことから**オープン・コード**と呼ばれることもあります。

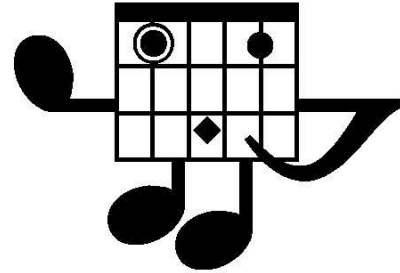
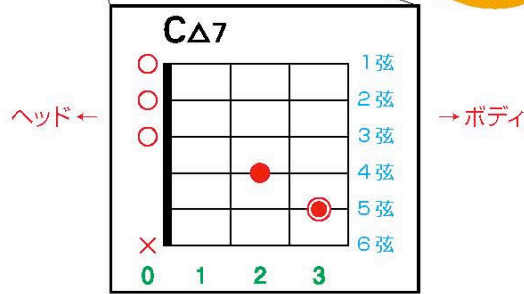
中央と右のフォームは、ロー・コードよりも高い位置で押さえることから**ハイ・コード**と呼ばれます。どちらも人差指で複数の弦を押さえる必要があります。

このように1本の指で複数の弦を押さえることを、**セーハ**または**バレー**と呼びます。

※本講座ではこの先、コードの仕組みを説明するために、ハイ・コードも頻りに登場させます。ハイ・コードは初心者にとっては押さえるのが難しいものばかりですが、この講座を読む上では、実際にそのコードが押さえられるかどうかは関係ありません。どうか挫折せずに読み続けてください。



指板図の見方



ここで指板図の見方を詳しく説明しておきます。
 まず左方向がギターのヘッド側、右方向がギターのボディ側になります。格子状の線のうち、横線はギターの弦で、上から1弦、2弦、3弦、4弦、5

弦、6弦になります。縦線はフレットで、その下に付けられた0、1、2、3といった数字は、フレット番号です。そして●、○、×、●は、それぞれ次のことを意味しています。

- = 弦を押さえる
- = 開放弦 (弦を押さえない)
- × = ミュート (弦を鳴らさない)
- = ルート音

●の「弦を押さえる」というのは、そのとおりの意味です。例えば指板図で4弦の2フレットの位置に●が付いていたら、実際のギターにおいても4弦の2フレットを押さえる、という意味になります。なお、「2フレットを押さえる」という表現を使っていますが、実際のギターでは、2フレットの真上ではなく、2フレットと1フレットの間、なるべく2フレットに近い位置で弦を押さえるようにしてください。

○の「開放弦」は、弦を押さえない、つまり開放の

ままにしておく、ということの意味しています。

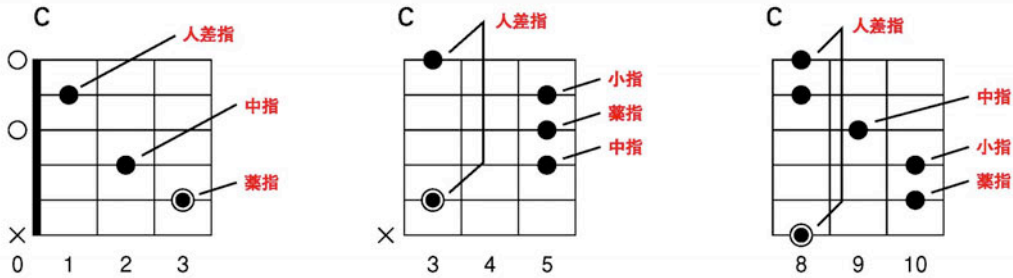
×の「ミュート」は、その弦は鳴らさない、ということの意味しています。鳴らさない方法には、その弦を弾かない方法と、消音する方法とがあります。消音の方法は次回に説明します。

●の「ルート音」とは、その音が「ルート」というものであることを示しているのですが、今の段階では、●が1フレット以上の位置に描かれていれば●と同じ意味、0フレット (開放弦) の位置に描かれていれば○と同じ意味だと思ってください。



Cコードを押さえる時の指使いと、「ロー・コード」「ハイ・コード」

Cの代表的な3つのフォームを、実際のギターで押さえる時の指使いを示しつつ、用語の解説もしておきましょう。



一番左のフォームは、ネックの低い位置で押さえるものであることから**ロー・コード**と呼ばれます。開放弦を含むことから**オープン・コード**と呼ばれることもあります。

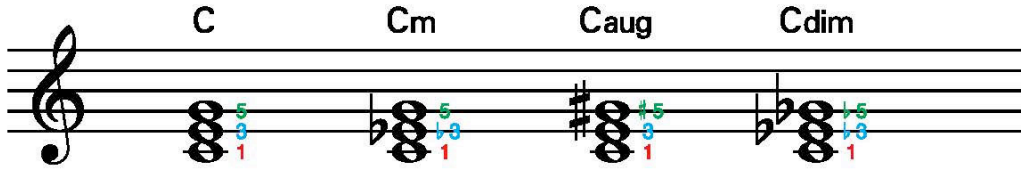
中央と右のフォームは、ロー・コードよりも高い位置で押さえることから**ハイ・コード**と呼ばれます。どちらも人差指で複数の弦を押さえる必要があります。

このように1本の指で複数の弦を押さえることを、**セーハ**または**バレー**と呼びます。

※本講座ではこの先、コードの仕組みを説明するために、ハイ・コードも頻りに登場させます。ハイ・コードは初心者にとっては押さえるのが難しいものばかりですが、この講座を読む上では、実際にそのコードが押さえられるかどうかは関係ありません。どうか挫折せずに読み続けてください。

「構成音」の欄の数字およびそれに \flat ・ \sharp 記号が付いたものは「度」を表しており、1は完全1度（つまりルート）、 \flat 3は短3度、3は長3度、 \flat 5は減5度、5は完全5度、 \sharp 5は増5度です。

さて、C（ド）をルートとした場合、この4種類の三和音のコード名は、C、Cm、Caug、Cdimとなり、構成音は次のとおりとなります。音符の右横に「度」も書き入れてみました。



第7回

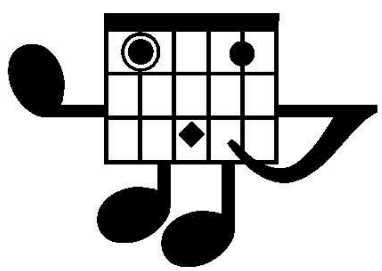
それぞれのトライアドが持つ響きを下の指板図とWEBの音源で確認しましょう。上段にある4つのフォームは、上の譜面の音符

をそのままギターで押さえたものになります。下段はそれらを1オクターブ上げたものです。

▶ WEB

C	Cm	Caug	Cdim
C	Cm	Caug	Cdim

※これらのフォームは、いずれもコードの基本形（低いほうから1度・3度・5度と並んだもの）をそのままギターで押さえたものです。実際の演奏ではあまり使わないフォームのほうが多いので、その点にご留意ください。



次に4種類のトライアドをひとつひとつ見ていきましょう。



CからC△7を作る

まずC△7のフォームを作ってみましょう。

まず構成音を確認します。Cの構成音は「1」（ルート・完全1度）、**「3」**（長3度）、**「5」**（完全5度）であり、C△7の構成音はそれに**「7」**（長7度）を足したものとなっています。

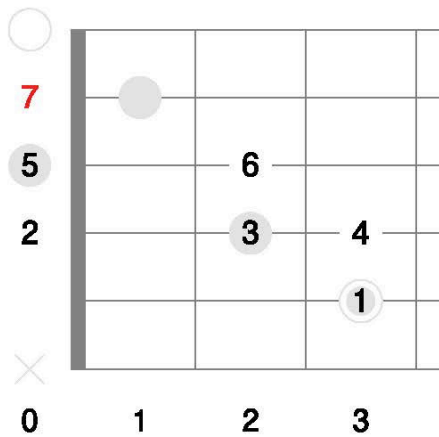
コード名	構成音			
C	1	3	5	
	ド	ミ	ソ	
C△7	1	3	5	7
	ド	ミ	ソ	シ

ということは、Cのロー・コードのフォームを少し変化させて、**「7」**の音も鳴るようにすればよいわけですね。

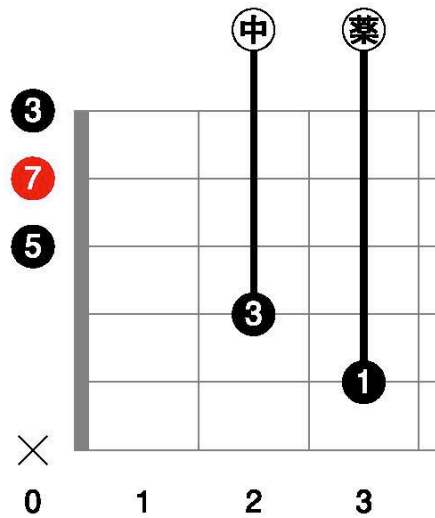
しかしその前に、「7」の音が**どの弦のどのフレットにあるか**を見つける必要があります。これは5弦3フレットのドからCメジャー・スケールを弾くことで探します。下左図のように、ドレミファソラシ（1234567）のシ（7）で手を止めてください。すると、2弦開放が「7」であることがわ

かります。そして、追加すべき「7」の音を、無理なく押さえられる指使いを考える必要があるわけですが、この場合はCのロー・コードで2弦1フレットを押さえていた人差指を、ただ弦から離せばOKです（下右図）。これでC△7の出来上がりです。簡単ですね。

「7」を見つける



C△7



なお、人差指を離すことによって2弦1フレットの「1」の音は失われてしまいますが、「1」の音

は5弦3フレットでも出している音なので問題ありません。

Fコードの押さえ方と攻略法

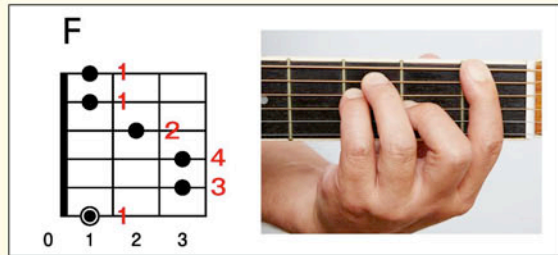
苦手コードNO.1、**Fコードを押さえる時のコツ**を、できる限り詳しく説明します。



はじめに

まずいわゆるFコードの押さえ方はこれです。いつもどおり、指板図と写真は上下左右が逆になっていますのでご注意ください。

Fは人差指のセーハを必要とするため、初心者にとっては押さえるのが難しく、これに挫折してギターをやめてしまう人が昔も今も残念ながら多いようです。しかし練習をすれば、**誰もが必ず押さえられるようになります**ので、がんばってください。今回説明する内容は次のとおりです。



- ① **自分にも絶対できると信じる**
- ② **親指をネックの「背」に置く**
- ③ **人差指では6・2・1弦の3本だけを押しさえれば良いことを意識する**
- ④ **人差指の「腹」ではなく「側面」で弦を押さえる**
- ⑤ **人差指は1フレットの近くに置く**
- ⑥ **中指・薬指・小指がとなりの弦に触れていないか確認する**
- ⑦ **6弦から順に押さえながら音を確認する**
- ⑧ **必要最小限の力で押さえる（脱力する）**
- ⑨ **ギターの弦の太さを調べる**
- ⑩ **ギターの弦高を調べる**

付記 それでも挫折中の人へ～省略形のFで曲を楽しむ



① 自分にも絶対できると信じる

Fコードで挫折しないために、まず最初に大事なのは、**「自分にも絶対できる」と楽観的に信じる**

ことだと思います。初心者の中には、Fを押さえられない理由を「自分は手が小さいから」、「指の

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地:〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング □設立:1978年4月10日 □資本金:1億円 □決算期:3月31日 □従業員数:81名(2016年3月31日現在) □代表取締役:古森優 □事業内容:音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:唐島夏生、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック デジタルマーケティング室 宣伝広報

Tel: 03-6837-4728 / E-mail: pr@rittor-music.co.jp